



あひるぐみだよ

2024年度 9月号

尚徳福祉会生麦保育園

日中は夏と変わらないような暑い日が続いていますが、日の長さが少しずつ短くなってきました。あひる組になり半年が過ぎ、できるようになったことや自己主張の方法など一人一人の成長を大切に、楽しみながら過ごしていきたいと思います。

★最近のあひるぐみ★

8月に2名新しいお友達を迎え10名になりました。担任も変わり環境が少しずつ変化していますが、子どもたちは新しい環境に戸惑うこともなく、今まで以上に元気に過ごしています。保育士たちに対してもそれぞれ見せる顔が違うことがあり、先月から新しく担任になった武井先生に対してはいつも自分でできていることを「やって」と甘えたり、信頼関係を築いている途中でもあるので子どもたちも武井先生もお互いに様子を探ったりしながら楽しそうに関わっています。優しいので子どもたちにも人気で、これからさらに関係を築いていく様子が今から楽しみです。そして4月から一緒に過ごしている黒田との絆も深まっているようで、本当に困ったときは私のところに助けを求めにきたり、保育室を出ると後を追ったりする様子も見られます。いけないことを伝える役は今のところ黒田ですが、いつの日かバランスよく役割分担できることを願っています(笑)これからも一人一人の成長に合わせながら楽しく、メリハリのある保育をしていきたいと思います!

～好き嫌いがでてきました～

今まで給食の時間がとても楽しみだった子どもたち。今でももちろん食べることは大好きなのですが、最近では好き嫌いがはっきりとでてきました。発達の段階的に味覚や満腹中枢の形成が未完成ということもあり、今までは量もたくさん食べ、お昼寝の子たちのために電気を半分消してもずっと座って食べている子もいましたが、8月に入りおかわりをしても「いっぱい」とおなかをさする仕草や「ごちそうさま」と手を合わせて自分で食事を終わりにする姿も見られました。また野菜を「いらない」「へらす」と皿を遠ざける姿も…(笑)できる限り一人一人の要望に沿ってあげたい気持ちもありますが「残してね」「そのまま置いておいてね」と伝えるといつの間にか完食していることも!声掛けももちろん大切ですが、子どものタイミングを待つことも援助になると改めて感じた担任でした。

たのしかった水遊び

泥んこは嫌がる子も多かった印象でしたが、水遊びは積極的に保育者にじょうろで水をかけたり、タライの中に両手を入れてバシャバシャと水しぶきをあげたりしてダイナミックに楽しむ姿がありました。感染症の流行時や視診の時に体調が優れないときには水遊びを控えるなど、その時の状況に応じてすすめています。プールじまいのメダルを渡すと、キラキラの笑顔で喜んでくれました。来年度の水遊びも今から楽しみな様子の子もたちです!



おしらせ・おねがい

- ・10月19日(土) 乳児「親子であそぼう会」があります。保護者の方にも参加していただき、子どもたちの成長をともに見守り、楽しい時間を過ごしたいと思います。詳細は後日お知らせします。
- ・8:30より前に登園される方は、洋服や汚れ物カゴなど保育室の中にセッティングをしてください。月曜日は布団も押し入れの中をお願いいたします。

